



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 ユニデン株式会社

コード番号 6815 URL <http://www.uniden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 藤本 秀朗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 饗場 俊之

TEL 03-5543-2812

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,896	△34.3	274	1.4	258	△22.4	140	△51.3
26年3月期第1四半期	5,931	△16.2	270	—	332	—	287	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 124百万円 (△2.7%) 26年3月期第1四半期 128百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.38	—
26年3月期第1四半期	4.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	36,055	30,958	85.9
26年3月期	36,130	31,129	86.2

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 30,958百万円 26年3月期 31,129百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当期の配当金につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,740	△33.4	690	12.2	665	△4.8	510	△32.9	8.66
通期	15,350	△26.8	1,500	50.9	1,450	48.0	1,100	85.6	18.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	63,139,649 株	26年3月期	63,139,649 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	4,273,828 株	26年3月期	4,271,518 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	58,866,894 株	26年3月期1Q	58,879,510 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。なお、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、一部新興諸国で政権交代や政局不安等により景気拡大が足踏み状態となっているものの、中国、また、米国及び欧州でも景気回復傾向は継続し、全体としては緩やかな回復が見られました。我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も徐々に軽微になりつつあり、総じて緩やかな回復基調が続きました。

このような環境の中、当社グループでは、採算性重視の経営方針を継続して推し進めてまいりました。主力の無線通信・応用機器部門においては、Scanner Radio（スキャナーラジオ）、CB無線機器の北米、欧州における更なる市場シェア拡大が進み、Video Surveillance（ワイヤレスカメラ・モニター）は、オセアニア市場での積極的な販売活動が展開されました。一方、不動産事業においては、物件の賃貸及び売買取扱金額の着実な増加により、当社グループの大きな柱へと成長を続けております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高3,896百万円（前年同四半期比34.3%減）、営業利益274百万円（前年同四半期比1.4%増）、経常利益258百万円（前年同四半期比22.4%減）、四半期純利益140百万円（前年同四半期比51.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

《エレクトロニクス事業》

当事業では、主に、電話関連機器、無線通信・応用機器、デジタル家電機器の製造販売を行ってまいりました。当事業の売上高は3,729百万円となりました。事業部門別の内訳は主に次のとおりであります。

〔電話関連機器部門〕

当部門では、北米市場において、Business Phone（ビジネスフォン）の売上が好調に推移したものの、北米市場および欧州市場において、主要カテゴリであるDECT6.0コードレス電話の販売数量が減少し、当部門全体では売上台数25万台（前年同四半期比78.1%減）、売上高は988百万円（同64.3%減）となりました。

〔無線通信・応用機器部門〕

当部門では、北米市場におけるScanner Radio（スキャナーラジオ）の売上が好調に推移し、また、欧州市場でCB無線機器が好調に推移したものの、Video Surveillance（ワイヤレスカメラ・モニター）は、好調であった前期の反動により、販売台数の落ち込みが見られました。当部門全体では売上台数35万台（前年同四半期比6.0%減）、売上高2,480百万円（同10.2%減）となりました。

〔デジタル家電機器部門〕

当部門では、液晶テレビ・モニターの売上が好調に推移したものの、地上デジタルチューナーの売上が減少し、売上台数1万台（前年同四半期比76.6%減）、売上高127百万円（同23.0%減）となりました。

《ゲーム事業》

当事業では、スマートフォン向けソーシャルゲーム「大決戦！ウルトラユニバース」の売上が好調に推移したことから、売上高91百万円（前年同四半期比33.0%増）となりました。

《不動産事業》

当事業では、不動産物件の販売売上、賃貸売上がともに好調に推移したことから、売上高76百万円（前年同四半期は7百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は15,523百万円(前期末比157百万円増)となりました。これは、主としてその他が273百万円、仕掛品が209百万円、商品及び製品が146百万円、繰延税金資産が13百万円、それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が228百万円、現金及び預金が219百万円、原材料及び貯蔵品が31百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は20,532百万円(同232百万円減)となりました。これは、有形固定資産が160百万円、投資その他の資産が57百万円、無形固定資産が15百万円、それぞれ減少したことによるものです。

この結果、資産合計は36,055百万円(同75百万円減)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は5,003百万円(前期末比74百万円増)となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が334百万円、その他が201百万円、未払法人税等が32百万円、それぞれ増加し、短期借入金が378百万円、未払費用が53百万円、賞与引当金が47百万円、役員賞与引当金が11百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は94百万円(同22百万円増)となりました。

この結果、負債合計は5,097百万円(同96百万円増)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は30,958百万円(前期末比171百万円減)となりました。これは、主として利益剰余金が140百万円増加し、資本剰余金が294百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,049	7,830
受取手形及び売掛金	3,538	3,310
商品及び製品	2,119	2,265
仕掛品	441	650
原材料及び貯蔵品	703	672
繰延税金資産	62	75
その他	536	809
貸倒引当金	△82	△88
流動資産合計	15,366	15,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,485	3,402
機械装置及び運搬具(純額)	1,571	1,497
工具、器具及び備品(純額)	327	313
土地	12,330	12,330
建設仮勘定	715	726
有形固定資産合計	18,428	18,268
無形固定資産	709	694
投資その他の資産		
投資有価証券	659	654
その他	1,083	1,031
貸倒引当金	△115	△115
投資その他の資産合計	1,627	1,570
固定資産合計	20,764	20,532
資産合計	36,130	36,055

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,229	1,563
短期借入金	876	498
未払費用	1,475	1,422
未払法人税等	496	528
賞与引当金	161	114
役員賞与引当金	11	-
製品保証引当金	57	53
その他	624	825
流動負債合計	4,929	5,003
固定負債		
その他	72	94
固定負債合計	72	94
負債合計	5,001	5,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,999	35,999
資本剰余金	11,791	11,497
利益剰余金	1,107	1,247
自己株式	△7,324	△7,325
株主資本合計	41,573	41,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	-
為替換算調整勘定	△10,452	△10,460
その他の包括利益累計額合計	△10,444	△10,460
純資産合計	31,129	30,958
負債純資産合計	36,130	36,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	5,931	3,896
売上原価	4,082	2,574
売上総利益	1,849	1,322
販売費及び一般管理費	1,579	1,048
営業利益	270	274
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	0	0
作業くず売却益	5	7
その他	65	3
営業外収益合計	73	13
営業外費用		
支払利息	2	2
為替差損	-	11
持分法による投資損失	-	13
その他	9	3
営業外費用合計	11	29
経常利益	332	258
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	-	0
特別退職金	-	42
事務所移転費用	-	17
特別損失合計	-	59
税金等調整前四半期純利益	334	199
法人税、住民税及び事業税	35	72
法人税等調整額	12	△13
法人税等合計	47	59
少数株主損益調整前四半期純利益	287	140
四半期純利益	287	140

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287	140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△8
為替換算調整勘定	△148	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	7
その他の包括利益合計	△159	△16
四半期包括利益	128	124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128	124
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	エレクトロ ニクス事業	ゲーム事業	不動産事業			
売上高						
外部顧客への売上高	5,856	68	7	5,931	—	5,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,856	68	7	5,931	—	5,931
セグメント利益又は 損失(△)	360	△83	△7	270	—	270

(注) 1 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	エレクトロ ニクス事業	ゲーム事業	不動産事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,729	91	76	3,896	—	3,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,729	91	76	3,896	—	3,896
セグメント利益又は 損失(△)	280	△6	0	274	—	274

(注) 1 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、当社グループ内の組織名称の変更に伴い、従来、「情報通信関連機器事業」としていた報告セグメントの名称を「エレクトロニクス事業」に変更しております。また、従来、「エレクトロニクス事業」を単一の報告セグメントとしておりましたが、「ゲーム事業」、「不動産事業」について重要性が増したため、前連結会計年度より、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。